

【WEBセミナー】

コロナ禍のアフリカの物流と今後の展望

「アフリカ大陸自由貿易圏（AfCFTA）の概要と評価」

2020年10月15日

日本貿易振興機構（ジェトロ）
ヨハネスブルク事務所 菅野将史

略歴



ジェトロ・ヨハネスブルク事務所
次長 菅野 将史（すがの まさふみ）

2001年、経済産業省入省。

在南アフリカ共和国日本大使館（2009～2012年）、経済産業省
中東アフリカ課（2012～2014年）、同製造局参事官室（2014～
2015年）、同繊維課（生活製品課に改組）（2015～2017年）、
国土交通省総合政策局インフラシステム海外展開室長（2017～
2018年）を経て、2018年9月より現職（経済産業省大臣官房参
事を兼任）。

TICAD V、TICAD 7 における日本政府の企画・運営に携わる。

1. 日本企業にとってのアフリカ大陸自由貿易圏（AfCFTA）

日本企業にとって、アフリカで稼ぐ方法は、大きく分けて2つ。

1. アフリカへの輸出（B-to-B、B-to-C、インフラ受注）

- 外からの輸出であり、アフリカ域内の関税を下げる AfCFTA は本質的には影響ない。
- なお、ジェトロとしては、貿易情報、アドバイザー、ビジネスマッチング、出展支援など様々なかたちでサポートします。

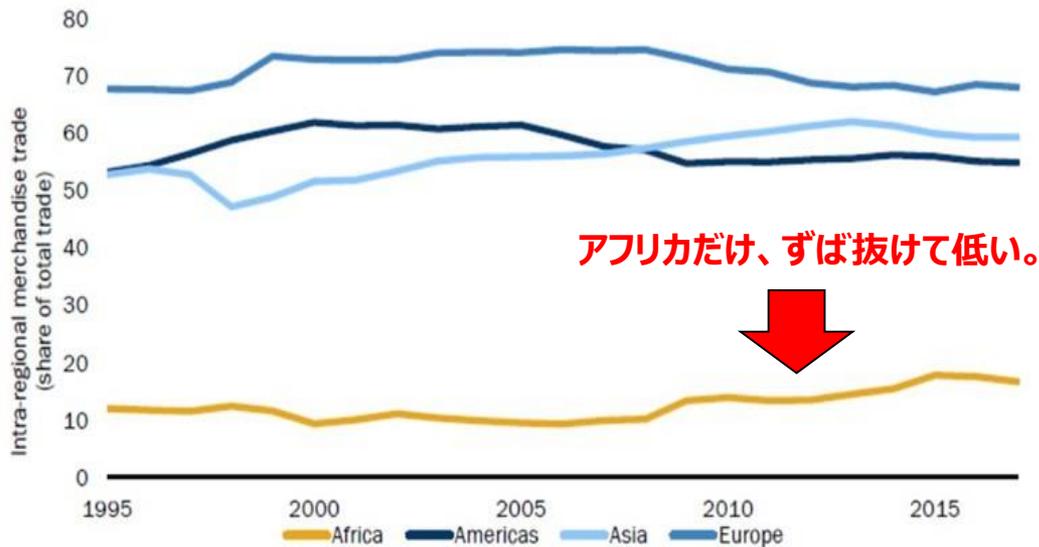
2. アフリカへの投資（地場企業への出資、製造拠点設置）

- ここ数年、従来からの自動車分野だけでなく、意外なほどに日本企業によるアフリカ地場企業への出資が増加。傍目からは日本資本に見えない例も。
- こうしたビジネスにとっては、アフリカ域内のモノ、サービス、投資の自由化が進むことには一定のメリットあり。

2 - 1. AfCFTA の背景 (アフリカ域内貿易の停滞)

- アフリカ諸国による域内貿易は、量的、質的ともに貧弱。

域内貿易比率の推移 (大陸別)



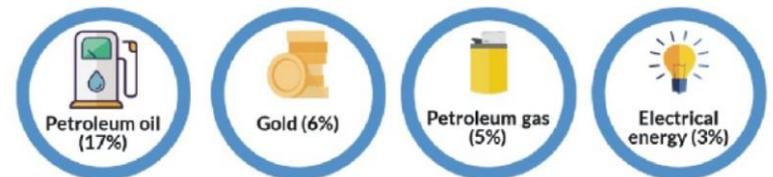
(出所) UNCTAD, Merchandise: Inter-trade and extra-trade of country groups by product, 2017

その少ない域内貿易も、資源品目が最大。

Main intra-Africa export products



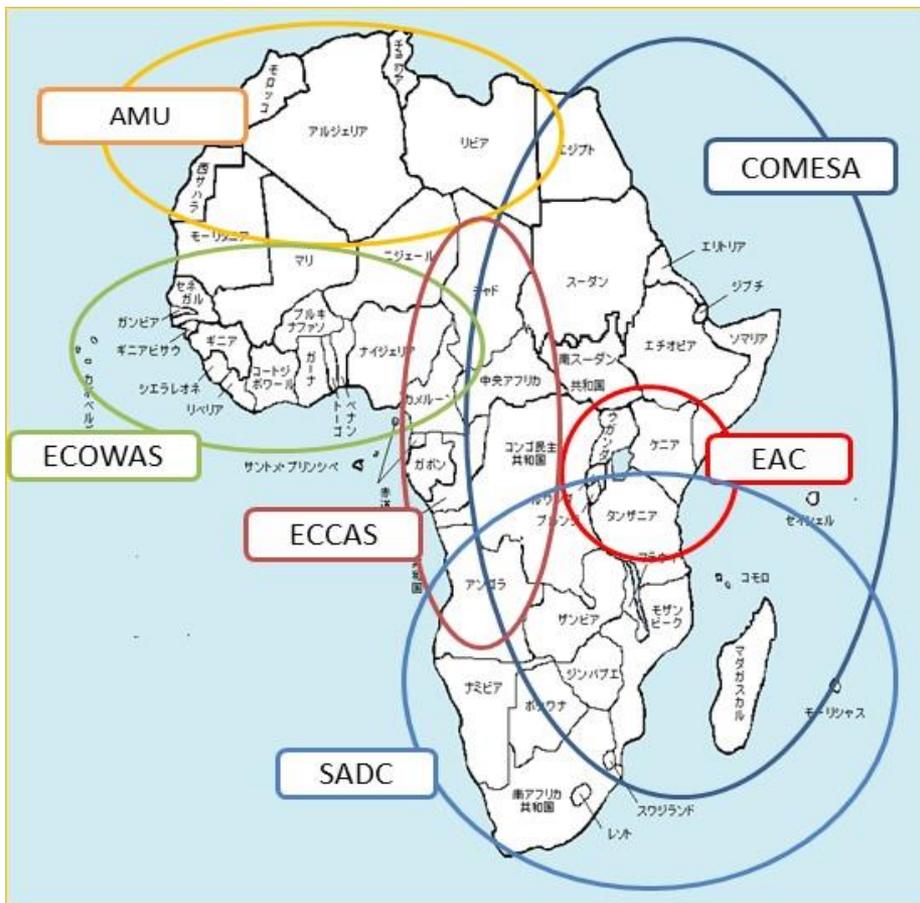
Main intra-Africa non-agricultural export products (2017)



(出所) tralac AfCFTA Guide fourth edition, February 2019, calculated from ITC Trademap 2019

2-2. AfCFTA の背景（地域経済共同体（REC）の林立）

- 地域経済共同体（REC）内では関税撤廃が進むも、一旦外に出るとMFN税率が適用される。



（出所） IMF Economic Outlook Database 2019 よりジェトロ作成

名称	加盟国数	加盟国	域内人口 (2018)	域内GDP (2018)
東南部アフリカ市場共同体 (COMESA)	21	エジプト、リビア、チュニジア、ソマリア、スーダン、エリトリア、ジブチ、エチオピア、ケニア、ウガンダ、ルワンダ、ブルンジ、コンゴ民、セーシェル、コモロ、マダガスカル、モーリシャス、マラウイ、ザンビア、ジンバブエ、エスワティニ	約5.3億	約6,808億ドル
アラブ・マグレブ連合 (AMU)	5	アルジェリア、リビア、モーリタニア、モロッコ、チュニジア	約1.0億	約3,874億ドル
東アフリカ共同体 (EAC)	6	ケニア、タンザニア、ウガンダ、ルワンダ、ブルンジ、南スーダン	約1.7億	約1,921億ドル
西アフリカ諸国経済共同体 (ECOWAS)	15	ベナン、ブルキナファソ、カーボベルデ、ガンビア、ガーナ、ギニア、ギニアビサウ、リベリア、マリ、ニジェール、ナイジェリア、セネガル、シエラレオネ、トーゴ、コートジボワール	約3.7億	約6,099億ドル
中部アフリカ諸国経済共同体 (ECCAS)	11	アンゴラ、ガボン、カメルーン、コンゴ民、コンゴ共、サントメプリンシペ、赤道ギニア、チャド、中央アフリカ、ブルンジ、ルワンダ	約2.0億	約2,569億ドル
南部アフリカ開発共同体 (SADC)	16	タンザニア、ザンビア、ボツワナ、モザンビーク、アンゴラ、ジンバブエ、マラウイ、レソト、エスワティニ、コンゴ民、モーリシャス、ナミビア、南アフリカ、マダガスカル、セーシェル、コモロ	約3.5億	約7,176億ドル

2 - 3. AfCFTA の背景 (アフリカ諸国の高関税)

- アフリカ諸国のMFN税率は高い。工業製品の場合、大半が20%超。

	Cement, salt, earths & stones etc	Mineral fuels & oils	Inorganic chemicals, rare earths etc	Fertilizers	Plastics	Precious stones & metals	Iron & steel	Nuclear reactors etc	Electricals	Vehicles other than railway
	HS25	HS27	HS28	HS31	HS39	HS71	HS72	HS84	HS85	HS87
Angola	50	20	20	2	50	50	30	50	50	50
Botswana	10	20	20	0	20	20	10	30	25	30
Cabo Verde	10	20	0	0	30	40	0	30	30	50
Cameroon	20	20	20	5	30	30	30	30	30	30
CAR	20	10	20	10	30	30	30	30	30	30
Chad	20	20	20	5	30	30	30	30	30	30
DRC	20	10	5	5	20	20	20	20	20	20
Djibouti	26	26	26	2	26	26	26	26	26	26
eSwatini	10	20	20	0	20	20	10	30	25	30
Gabon	20	20	20	5	30	30	30	30	30	30
The Gambia	20	10	20	5	20	20	20	20	20	20
Ghana	20	10	10	0	20	20	20	20	20	20
Guinea	20	20	10	0	20	20	20	20	20	20
Guinea-Bissau	20	10	20	5	20	20	20	20	20	20
Lesotho	10	20	20	0	20	20	10	30	25	30
Liberia	25	15	25	2.5	15	25	5	25	25	50
Madagascar	10	20	5	0	20	20	15	20	20	20
Mauritania	20	20	13	5	20	20	20	20	20	20
Mozambique	20	7.5	2.5	2.5	20	20	7.5	20	20	20
Namibia	10	20	20	0	20	20	10	30	25	30
Nigeria	20	10	20	5	20	20	20	20	20	35
Rwanda	25	25	25	0	25	25	25	25	35	25
Sierra Leone	30	20	5	5	20	20	10	20	20	30
Tunisia	20	20	20	0	20	20	20	20	20	20
Zambia	25	25	0	0	25	25	30	25	25	25
Zimbabwe	20	45	10	25	40	40	25	60	60	60

	Petroleum oil	Copper ores & concentrates	Goods vehicles	Portland cement	Refined sugar	Maize	Articles of iron or steel	Beer	Trousers
EAC CET	0	0	0; 10; 20; 25*	25	20; 100*	50	0; 10; 25*	25	25
ECOWAS CET	0	5	0	20	20	5	5; 10; 20*	20	20
SACU CET	0	0	0; 10*	0	213.1c/kg	0	20; 5; 10; 15; 20; 30*	5	40; 45*

(関税同盟)

EAC : 東アフリカ共同体
 ECOWAS : 西アフリカ諸国経済共同体
 SACU : 南部アフリカ関税同盟

(出所) tralac AfCFTA Guide third edition, August 2018 and fourth edition, February 2019

2 - 4. AfCFTA の背景（政治的なモメンタム）

- AUの訴求力向上の象徴として、一昨年議長のルワンダ・カガメ大統領が推進。

➤ 2012年1月のアフリカ連合（AU）総会において、2017年までのアフリカ大陸自由貿易協定（AfCFTA）の成立を目指すことを決議。

➤ 2018年、持ち回りのAU議長にルワンダのカガメ大統領が就任。執行部の機能強化など、AU強化のための改革を推進。**AfCFTAをAUそして小国を率いる自身の訴求力向上のための象徴として重視。**

➤ 首脳レベルの根回しを経て、**2018年3月17～21日にルワンダの首都キガリにて開かれたAU特別総会において、55ヶ国中44ヶ国がAfCFTA協定に署名。**

（本年10月現在、エリトリアを除く54ヶ国が署名）。

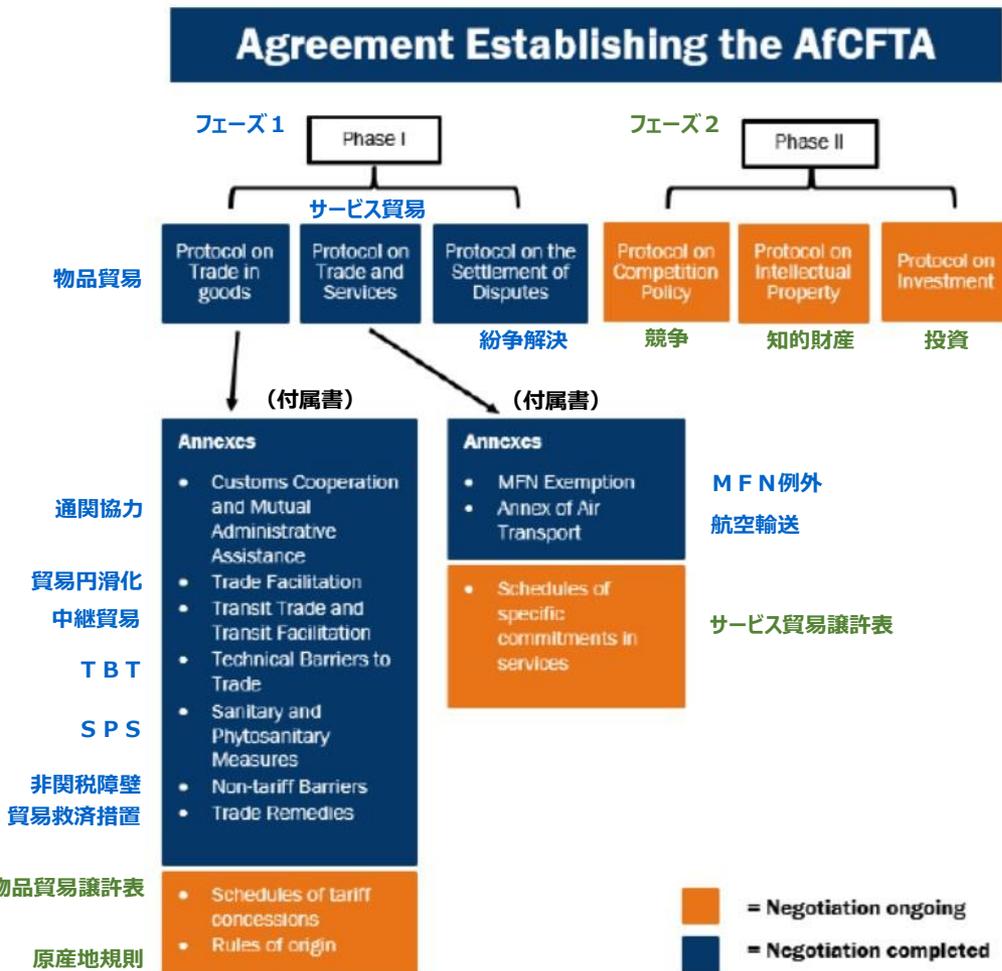
➤ 22ヶ国の批准により発効条件を充たし、**2019年5月30日に発効。**



カガメ大統領

3 - 1. AfCFTA の全体像

- AfCFTA 協定自体は枠組み協定に過ぎず、関税撤廃品目など詳細は交渉中。



- 2018年3月のキガリ特別総会で署名されたのは、フェーズ1。
- フェーズ1の中でも、**物品貿易・サービス貿易の譲許表、原産地規則という「肝」の部分は未合意。**
- 譲許表は各国・地域（関税同盟を含む）が提出し、交渉を経て確定される。**原則、MFNベースで各加盟国に同じオファーとする必要あり。**
- 提出期限は延長が続き、**物品貿易の譲許表については年内確定を模索。** 現在、16の交渉主体（国または関税同盟）が提出済みで、うち11の交渉主体については確定。

3 - 2. AfCFTA の内容（物品貿易：関税）

- 関税撤廃の対象品目は、基本的にタリフライン（T L）ベースで決まる。

【対象品目】

- タリフライン（T L）ベースで90%が5年以内に関税撤廃。
（※ 昨年6月段階の報告では「90%が即時撤廃」としていたが、5年以内の撤廃が認められることが判明。）
- T Lの7%は、Sensitive Productsとして、10年間での関税撤廃を認める。
- T Lの3%は、Exclusion Listとして、自由化の対象外とすることを認める。ただし、Exclusion Listは、タリフバリュー（T V）ベースで当該国の他の加盟国からの輸入額の10%以内。

【L D Cへの配慮】

- T Lの90%が10年以内に関税撤廃。T Lの7%は Sensitive Productsとして13年間での関税撤廃を認める。T Lの3%は自由化対象外。
- エチオピアなど6ヶ国は、T Lの85%が10年以内関税撤廃など、更に有利な配慮。

Country Classification ³⁸	Tariff Reductions		
	Non-sensitive products (90%)	Sensitive Products (7%)	Excluded Products (3%)
Non-Least Developed Countries	Fully liberalise over 5 years	Fully liberalised over 10 years	No Cut
Least Developed Countries	Fully liberalised over 10 years	Fully liberalised over 13 years	No Cut
Group of Six*	85% fully liberalised over 10 years; additional 5% liberalised over 15 years	Fully liberalised over 13 years	No Cut

* Ethiopia, Madagascar, Malawi, Sudan, Zambia and Zimbabwe

（出所）UNECA資料をもとに South Africa Institute of International Affairs 作成。

<https://saiia.org.za/research/understanding-the-african-continental-free-trade-agreement/>

3 – 3. AfCFTA の内容（物品貿易：原産地規則）

- 原産地規則に関する付属書は未合意。A U 委員会によると、総論部分はほぼ合意。当初は加盟国への啓蒙を兼ねて、関税の議論と de-link して交渉を進めてきた。
- 一方で南アを中心とする南部アフリカ関税同盟（S A C U）はアフリカ域外からのフリーライドを強く意識しており、厳しめの原産地規則を要求。交渉が佳境に入るにつれ、品目別ルール of 議論が本格化してきている。
- 2020年10月現在、焦点となっているのは、①自動車部品、②繊維製品、③砂糖、④食用油脂の4分野における品目別ルールの策定。

（出所）A U 委員会、U N E C A、tralac 他より取材；Africa Growth Initiative Policy Brief, May 2019；tralac AfCFTA Q&A, August 2018

3 - 4 . AfCFTA の内容 (物品貿易 : R E C との関係性)

- AfCFTA は、R E C の自由貿易圏・関税同盟を尊重し、R E C 外との差別化を認めている。すなわち、M F N 条項は存在するものの、実質機能していない。
- R E C 内の貿易は、一部例外をすでに除き関税は撤廃されており、既存の R E C 内では、AfCFTA によって何か新しい自由化が達成される訳ではない。
- つまり、AfCFTA によって新たな関税撤廃が実現するのは、南アと西部・東部アフリカ、ケニアとエチオピア、アンゴラ・コンゴ民と周辺国、モロッコと西アフリカなど、同じ R E C に属さない、比較的限られた組合せになることに留意。

※ アンゴラとコンゴ民は S A D C の一員ではあるが、S A D C - F T A には参加していない。

【参考】 AfCFTA Protocol on Trade in Goods - Article 8: Schedule of Tariff Concessions

1. Each State party shall apply preferential tariffs to imports from other State Parties in accordance with its Schedule of Tariff Concessions contained in Annex 1 to this Protocol and in conformity with the adopted tariff modalities. The Schedules fo Tariff Concessions, the adopted tariff modalities and outstanding work on tariff modalities to be negotiated and adopted, shall be an integral part of this Protocol;
2. Notwithstanding the provisions of this Protocol, State Parties that are members of other RECs, which have attained amongst themselves higher level of elimination of tariff duties and trade barriers than those provided for in this Protocol, shall maintain, and where possible improve upon, those higher levels of trade liberalisation among themselves.

(出所) AfCFTA 協定本文より抜粋 (<https://www.tralac.org/documents/resources/faqs/2377-african-continental-free-trade-area-faqs-june-2018-update/file.html>)

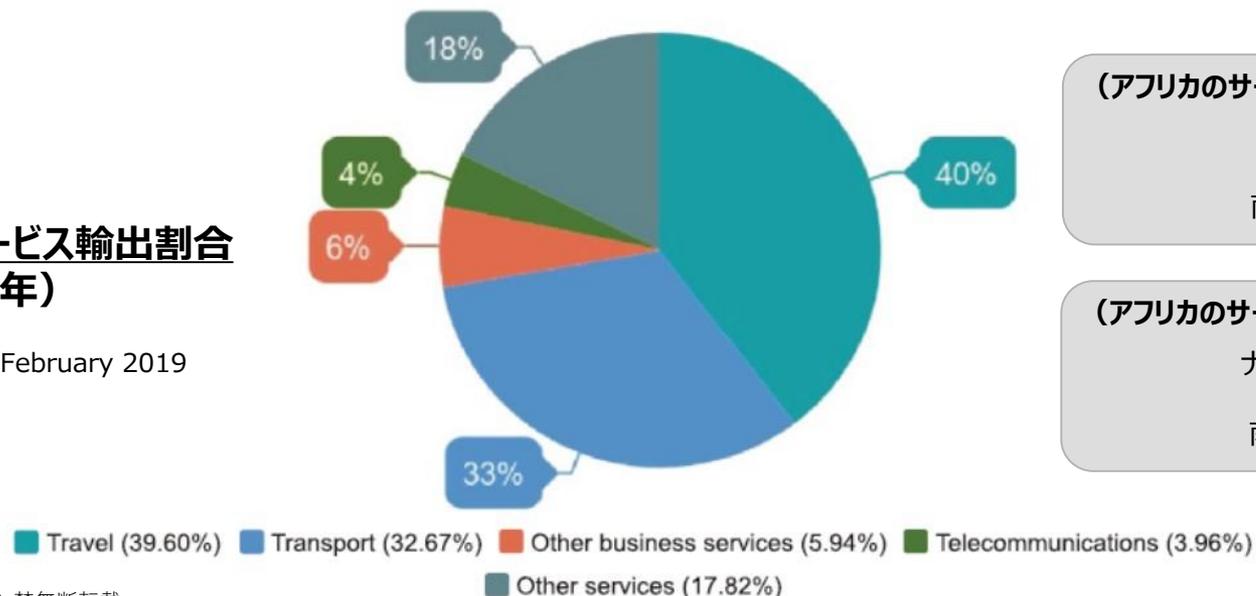
3 - 5. AfCFTA の内容 (サービス貿易)

- 2019年3月にサービス貿易議定書 (Protocol in Trade in Services) に署名。
- NT条項、MFN条項 (いずれも協定発効後が対象) を含むが、各国ともにMFN対象外となる Exemption List を提出可能。資格の相互認証や独占企業への制約などの条項を含む。経常収支や安全保障に関する例外事項あり。
- GATSプラスのオファーは、そこまで多くならない見込み。エチオピア、スーダンなどWTO未加盟国もあり、譲許表確定は物品より遅れる予定。

(出所) AfCFTA 協定・サービス議定書 (<https://www.tralac.org/documents/resources/faqs/2377-african-continental-free-trade-area-faqs-june-2018-update/file.html>)

アフリカ域内からのサービス輸出割合 (2017年)

(出所) tralac AfCFTA Guide, February 2019



(アフリカのサービス輸出トップ3)

エジプト
モロッコ
南アフリカ

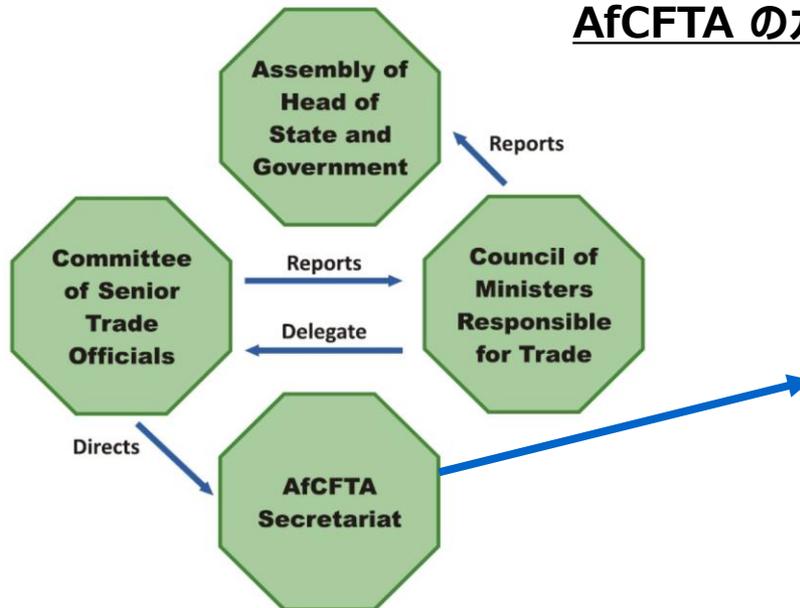
(アフリカのサービス輸入トップ3)

ナイジェリア
エジプト
南アフリカ

3 - 6. AfCFTA の内容（サービス貿易）

- A U 首脳会合が最終決定権を握り、その下に順次、A U 貿易大臣会合、A U 貿易高官委員会、新設の AfCTFA 事務局（ガーナに所在。初代事務局長は南アの首席交渉官を務めた Wamkele Mene 氏。米国弁護士。）が位置づけられる。
- 個別イシューの紛争解決については、2018年3月署名の議定書により設置され、AfCFTA 参加国から構成される紛争解決機関（Dispute Settlement Body）が担うことが規定されている。

AfCFTA のガバナンス構造



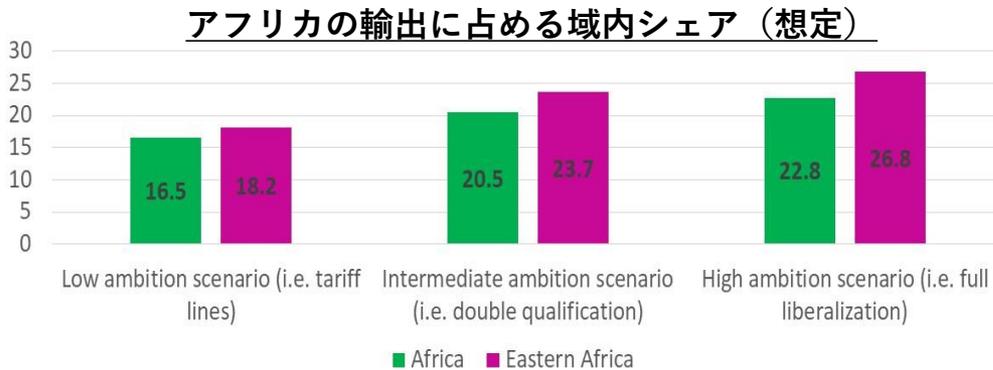
A number of other committees are established by the AfCFTA, including:

- ❖ Committee for Trade in Services
- ❖ Committee for Trade in Goods
- ❖ African Union Sub-Committee of the Directors General of Customs
- ❖ Sub-Committee on Trade Facilitation
- ❖ Committee on Rules of Origin
- ❖ Committee for Technical Barriers to Trade
- ❖ Committee for Non-Tariff Barriers
- ❖ Committee on Trade Remedies
- ❖ Committee on Sanitary and Phytosanitary Measures

A Dispute Settlement Body is also provided for in the Agreement.

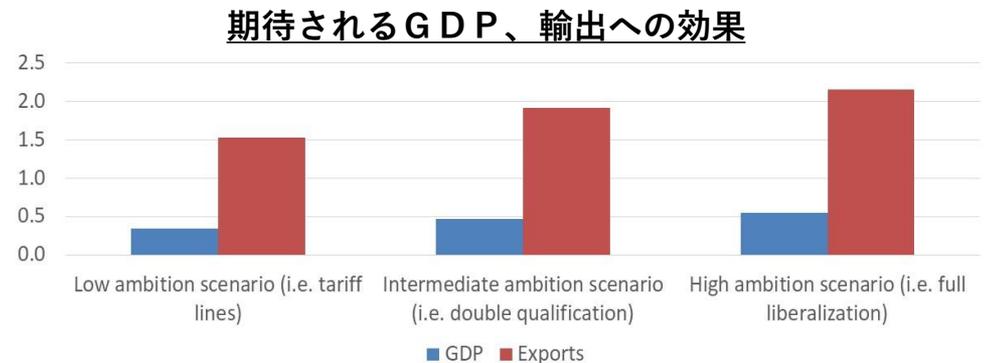
4. 期待される経済効果

- IMFは、域内貿易が元々低いこともあり、関税収入減の影響は限定的と分析。



(出所) UNECA presentation, November 2018

- GDPへの貢献は、完全な自由化が達成されたとして0.5%程度。



(出所) UNECA presentation, November 2018

関税収入が国庫収入に占める割合



Source: IMF, Fiscal Affairs Department Tax Revenue Indicators database.

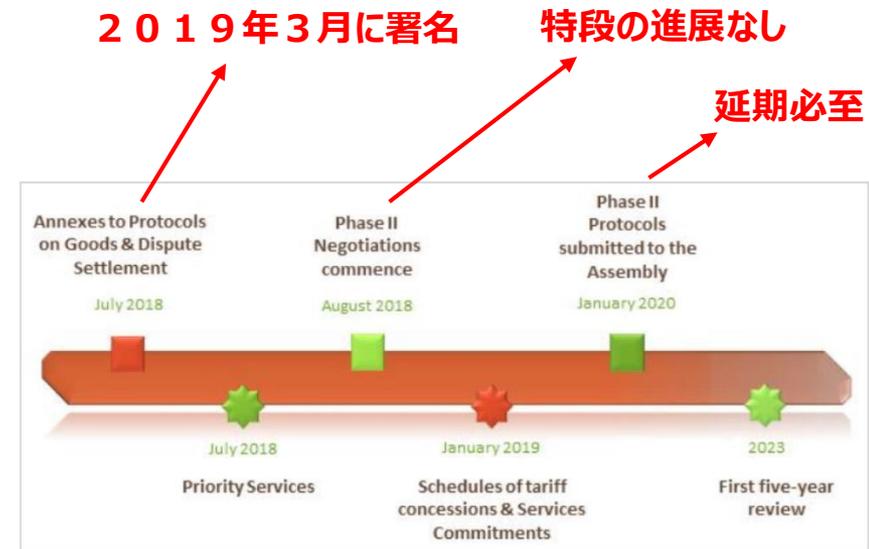
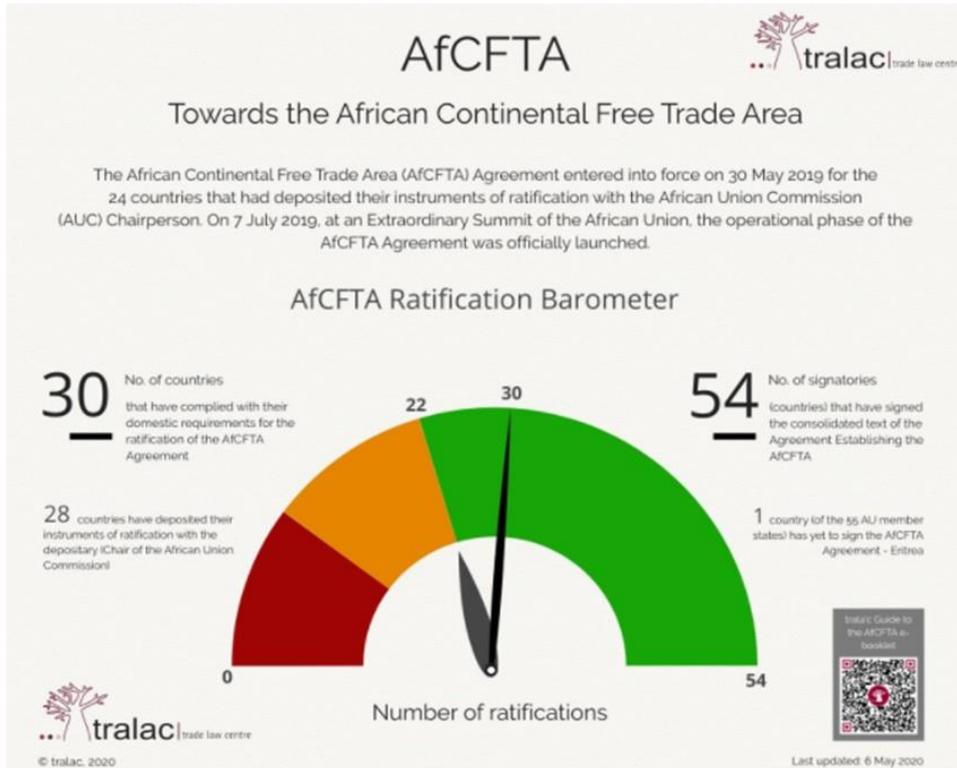
Note: Excluding Southern African Customs Union (SACU) countries, except South Africa as SACU countries' customs revenue is pooled.

(出所) IMF Regional Economic Outlook, April 2019

- 資源輸出に依存しない東アフリカが、最も恩恵を受けると見なされている。

5 - 1. AfCFTA の批准・発効プロセス

- 2019年5月の発効時点で24ヶ国が批准。本年5月時点で30ヶ国が批准。**未批准の国は、AfCFTAの義務・恩恵の対象とならないことに留意。**
- フェーズ1の譲許表確定やフェーズ2の交渉開始は、当初予定から大幅に遅延。



2020年7月以降を目指すもコロナにより遅延、現在は2021年1月開始を目標。

(出所) tralac, May 2020 <https://www.tralac.org/resources/by-region/cfta.html>

5 - 1. AfCFTA の批准状況

段 階	国・地域数	国・地域名
署名及び批准書の寄託	30	ガーナ、ケニア、ルワンダ、ニジェール、チャド、コンゴ共和国、ジブチ、ギニア、エスワティニ、マリ、モーリタニア、ナミビア、南アフリカ共和国、ウガンダ、コートジボワール、セネガル、トーゴ、エジプト、エチオピア、ガンビア、シエラレオネ、西サハラ、ジンバブエ、ブルキナファソ、サントメプリンシペ、ガボン、赤道ギニア、リベリア、ギニアビサウ、アンゴラ
署名のみ	24	モロッコ、アルジェリア、リビア、チュニジア、スーダン、ソマリア、南スーダン、中央アフリカ共和国、カメルーン、ベナン、ガーボベルデ、コンゴ民主共和国、タンザニア、ブルンジ、マラウイ、コモロ、モーリシャス、マダガスカル、モザンビーク、ザンビア、ボツワナ、レソト、ナイジェリア、ベナン
未署名	1	エリトリア

(出所) アフリカ連合 (AU)

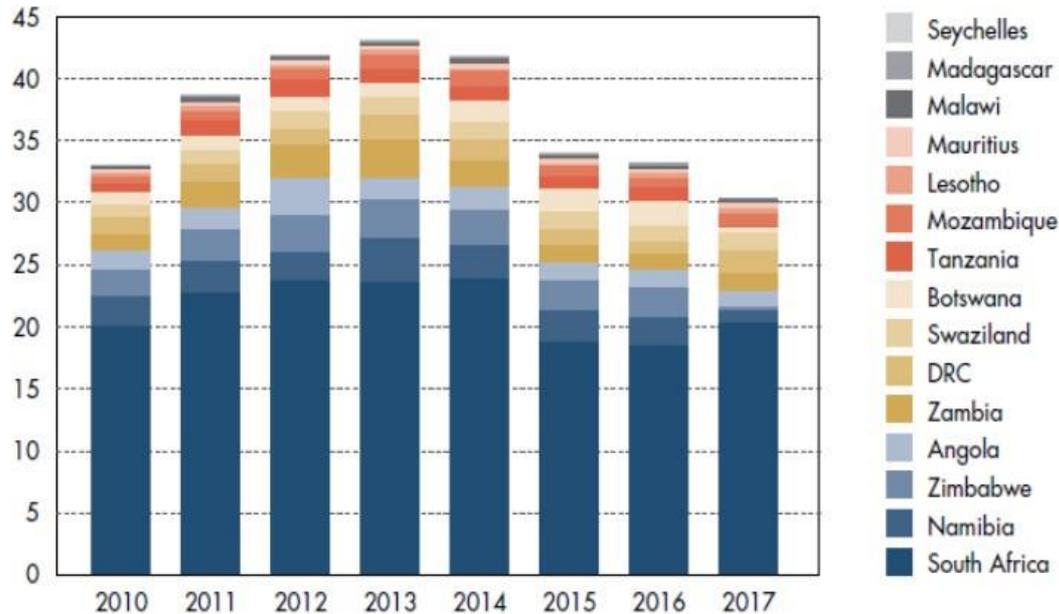
6. 今後の注目点

- (1) AfCFTA 加盟国による物品貿易の譲許表の確定がいつになるか。相手国別に異なる開放分野を設定するわけではないことが判明し、交渉は比較的シンプルにはなるが、2021年に間に合うかは不明。
- (2) 批准国は順調に増えるのか。30ヶ国のままだと効果は半減。特に密輸対策のため近隣国との貿易を閉鎖したナイジェリアは抵抗する地元企業が多く、無事批准に至るかが注目される。
- (3) 2020年2月、ケニアが米国とFTA交渉開始。AfCFTAは関税同盟ではないため即座に抵触するものではないが、域外国とのFTAに際しては、品目別の自由化を他のAfCFTA加盟国に均てんすることが求められる。
- (4) フェーズ2交渉はいつ始まるか、特に投資章で国対投資家の紛争解決（ISDS）が含まれるか。フェーズ3として電子商取引章を追加しようとの議論も出ている。

参考 1. 既存の地域経済共同体：SADC

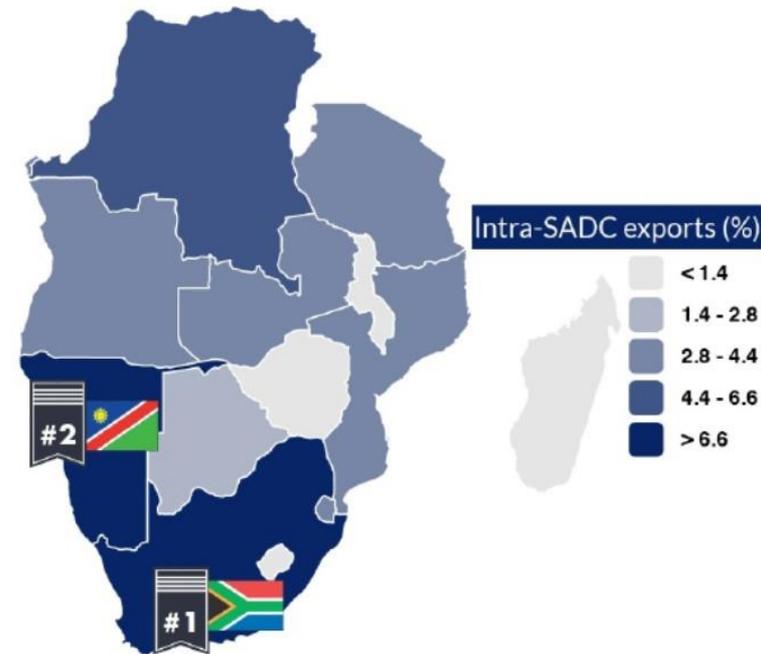
- 1992年創設、2008年に域内FTA実現。TLベースで85%が対象。
南アの小売り産業は積極的に活用。
(※ ディスカウントチェーン Mr Price 社長が語るには、SADC・FTAを活用し、同社の繊維製品の約4割は域内から調達。)
- 南部アフリカの15ヶ国が加盟。ただし、コンゴ民とアンゴラは域内FTAには未参加。

SADC域内貿易の実績 (\$ billion)



(出所) Regional Economic Development in SADC: Taking Stock and Looking Ahead, SAIIA, August 2018

SADC域内輸出の各国に占める割合



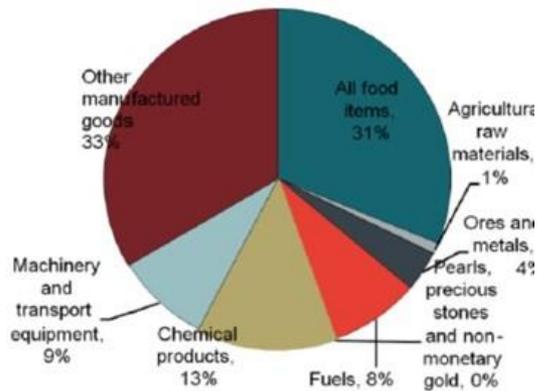
(出所) Intra-Africa Trade at a Glance, tralac, March 2019

参考 2. 既存の地域経済共同体：E A C

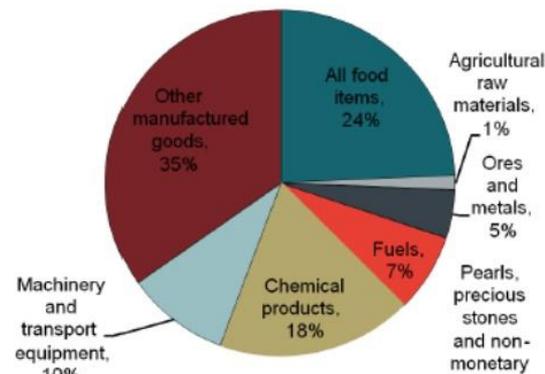
- 1967年創設、2005年に関税同盟を発足。域内関税は一部例外を除きほぼ撤廃。アフリカで最も統合が進んだ地域気経済共同体（R E C）と評価される。工業製品や食品の域内貿易が盛ん。
- ケニア、タンザニア、ウガンダ、ルワンダ、ブルンジ、南スーダンの6ヶ国で構成。

**E A C 域内貿易の品目構成
(2016年)**

輸出

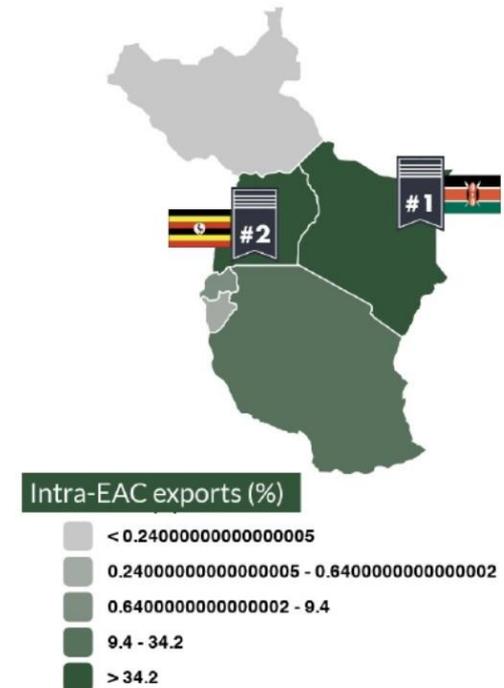


輸入



(出所) Regional Opportunities in East Africa, United Nations University – WIDER, December 2016

E A C 域内輸出の各国に占める割合



(出所) Intra-Africa Trade at a Glance, tralac, March 2019

参考3. 既存の地域経済共同体：E C O W A S

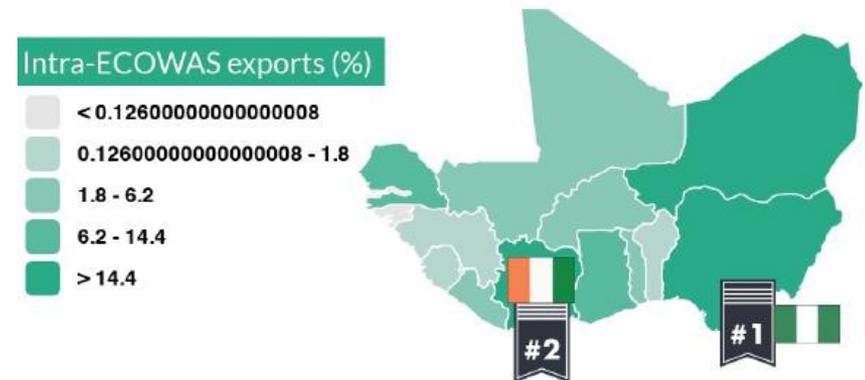
- 1975年創設。1979年に食品・伝統工芸品を対象としたE C O W A S貿易自由化制度（E L T S）設立、1990年に工業品にも拡大。60%付加価値の原産地規則を充たせば、原則、無税で域内貿易が可能。
- ナイジェリア、仏語圏諸国など西アフリカ15ヶ国で構成。

E C O W A S 域内貿易の推移



(出所) Trade Integration in ECOWAS: Assessing Constraints and Opportunities Using an Augmented Gravity Model, Policy Center for the New South, December 2018

E C O W A S 域内輸出の各国に占める割合



(出所) Intra-Africa Trade at a Glance, tralac, March 2019

ご清聴有難うございました

【ご注意】

本日の講演内容、資料は情報提供を目的に作成したものです。

主催機関および講師は資料作成にはできる限り正確に記載するよう努力しておりますが、その正確性を保証するものではありません。本情報の採否はお客様のご判断で行ってください。

また、万一不利益を被る事態が生じましても主催機関及び講師は責任を負うことができませんのでご了承ください。